

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2022年6月28日

1. Lancet:新型コロナ：北朝鮮の状況
2. 【情報追加】サル痘の皮膚所見

【松崎雑感】

1. 昨日の「サル痘」で皮膚所見の画像を添付し忘れたので追加します。
2. 北朝鮮のコロナ状況についてLancetの取材記事を紹介します。北朝鮮の人々の命を救うためには、人道的な支援が必要という趣旨です。核兵器開発を進める政権に対する制裁一本やりでよいのかも含め、複眼的視点で、現実の困難解決に協力する事が、まわり回って戦争の危険を減らすことにつながるのではないかと思います。

新型コロナ：北朝鮮の状況

Burki T. COVID-19 in North Korea. *Lancet*. 2022;399(10344):2339.
doi:10.1016/S0140-6736(22)01133-3

1か月前、北朝鮮は新型コロナ患者が発生したことを明らかにした。情報は極めて少ないが、大きなアウトブレイクが起きている様である。食料不足とワクチン接種の遅れが拍車をかけていると思われる。タルハ・ブルキ氏の報告を紹介する

新型コロナが発生したとき、北朝鮮はいち早く国境を閉鎖した。その後、この国は外国とのコンタクトをほとんど遮断してきた。

時々新型コロナらしき症状を持つ北朝鮮の人々が施設に隔離されたという情報が出されてきたが、それが新型コロナなのか確認できなかった。

2022年5月12日、北朝鮮は新型コロナ患者が発生したことを公式に明らかにした。

金正恩総書記は、この事態を「建国以来の大動乱」と表現した。

検査資源が極めて不足しているため、北朝鮮のアウトブレイクがどのような道をたどるかは予測不能である。

しかし、北朝鮮当局は「発熱患者数」に関する詳細な情報を公表するという異例の対応をしてきた。

新規発熱者数は5月15日に40万名とされ、5月末までに1日10万人台まで漸減した。発熱患者すべてが新型コロナであるわけではない。

一方発熱のない新型コロナ患者も多いはずであるため、これらの数字は大まかな参考となる唯一のデータである。

6月18日までに、人口の18%、460万人の発熱患者が報告されている。

ワクチン接種率が低いことも、この状況を悪化させているだろう。北朝鮮のワクチン接種率も不明で、特別なワクチン接種プログラムがあるのかもわからない。

北朝鮮はワクチン援助システムCOVAXからの数百万人分のワクチン提供を断った。中国からワクチンが輸出されたが、国民全体に行き渡る数量とは思われない。

「ワクチンなしにオミクロン株に対応すると悲惨な結果を招くだろう。急速に感染者が増えるだろう。オミクロン株はデルタ株よりも毒性が低いとされているが、香港のように、感染者が激増すると、入院と重症化する人々も激増し、社会的影響が極めて大きくなる。しかも、北朝鮮は深刻な食糧不足に見舞われている」とハーバード大学公衆衛生学准教授ウィリアム・ハネー氏は語る。

2019年の世界食糧計画の報告によれば、1100万人の北朝鮮国民が栄養失調となっており、人道的援助が必要だった。

ロンドンの東洋アフリカ研究院北朝鮮研究センターのヘイゼル・スミス氏は北朝鮮の危機的状態が、核兵器開発継続に対して実施された2017年の国連の包括的制裁の影響であると指摘している。

「北朝鮮は、基本的な医薬品や清浄な水の供給に大きな困難を抱えている。農業生産は不振で、肥料や農機具の絶対的不足が続いている。また灌漑施設の修復もままならない。政府にも各家庭にも備蓄食料はほとんどないはずだ」とスミス氏は述べた。

「新型コロナが北朝鮮全体に広がれば、重大な事態が起きるだろう。人々がそれに耐えられる余力はほとんどないだろう」とスミス氏は語った。

彼女は、北朝鮮政府が、新型コロナとたたかうための国際社会の援助を受け入れると、この国の惨状が世界に知れ渡るために、決して受け入れないだろうと考えている。

「権威主義的な政府というものは、国民の福祉よりも政権維持を優先することが常だから」とスミス氏は語った。

北朝鮮は5月12日以来、死亡した発熱患者は73名にとどまっていると報告している。この数字は極めてありそうもないが、もし、北朝鮮国民が今回初めて新型コロナに感染し始めたなら、まったくあり得ない数字ともいえないが。

ハネー氏は、オミクロン株の病原性が初期の新型コロナウイルスとほぼ同程度と仮定するなら、パンデミック初期のニューヨーク市の経験から類推すると、最初の1か月で北朝鮮では5万人の死亡が発生しているはずと考えられると述べた。入院患者数はその数倍に達するだろう。

北朝鮮の医療専門家は匿名で「北朝鮮の医療システムは新型コロナ患者の急増に対応できない。人工呼吸器、酸素、基礎的医薬品、ましてや抗ウイルス薬などが絶対的に不足している。最高レベルの病院でも、医師たちは手袋を再使用している始末だ」と語った。

スミス氏は、問題はスタッフが足りないのではなく物資が足りないのだと語る。「北朝鮮には優秀な医療スタッフが多い」と彼女は語った。

2007年に北朝鮮はたった3日間で、はしかワクチンを1千万人に接種したという実績がある。

もし新型コロナワクチンが十分量供給されたなら、数週間以内に全国民に接種を完了することができるはずである。

スミス氏は、国際社会に、コロナパンデミックが収束するまでは国連の制裁を一時中止することを提案している。

「北朝鮮の人々の健康を守るためには必要不可欠な物資を供給することが最も重要だ」と彼女は本誌に語った。



【昨日の情報追加：サル痘皮膚所見】

[US service member in Germany infected with monkeypox | Stars and Stripes](#)

